

2014年度（2015年3月期）  
第3四半期 決算説明会

2015年2月12日

1. 決算説明
2. 2014年度の見通し

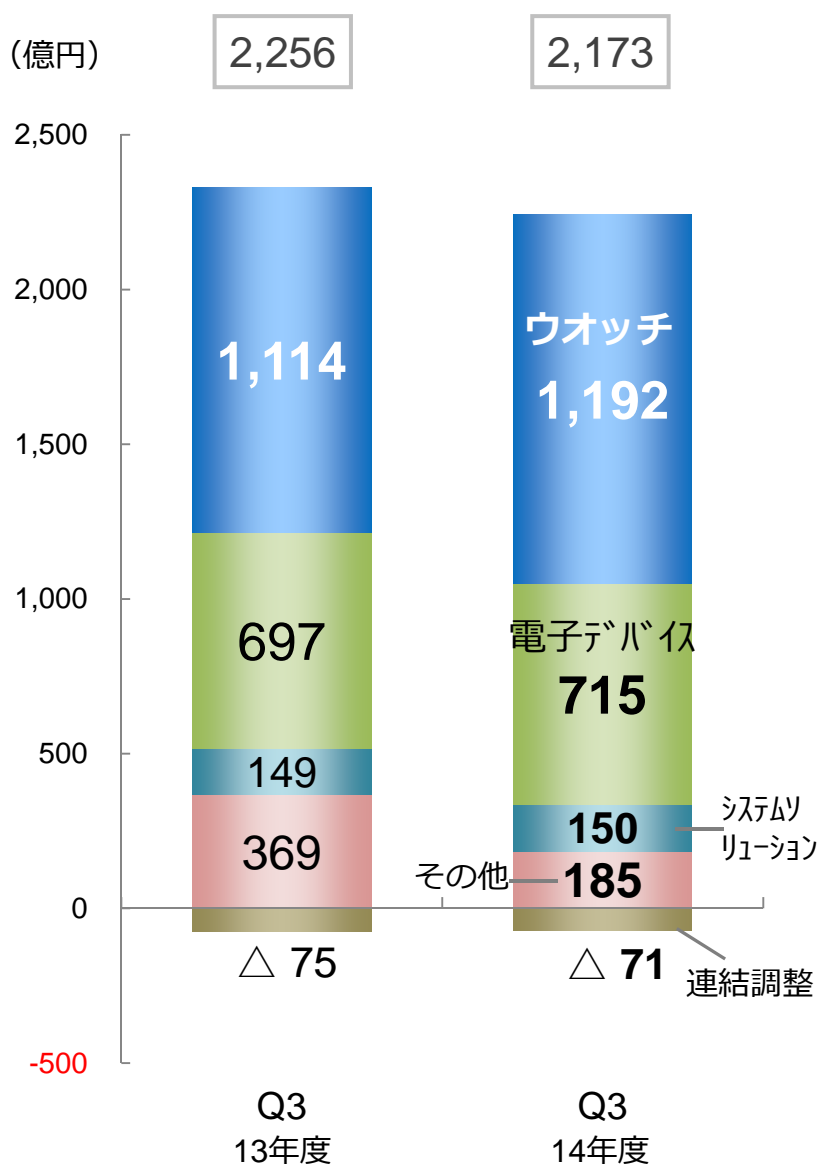
# 1. 決算説明

# 2014年度 損益 - 第3四半期 (累計 4月-12月) -

SEIKO

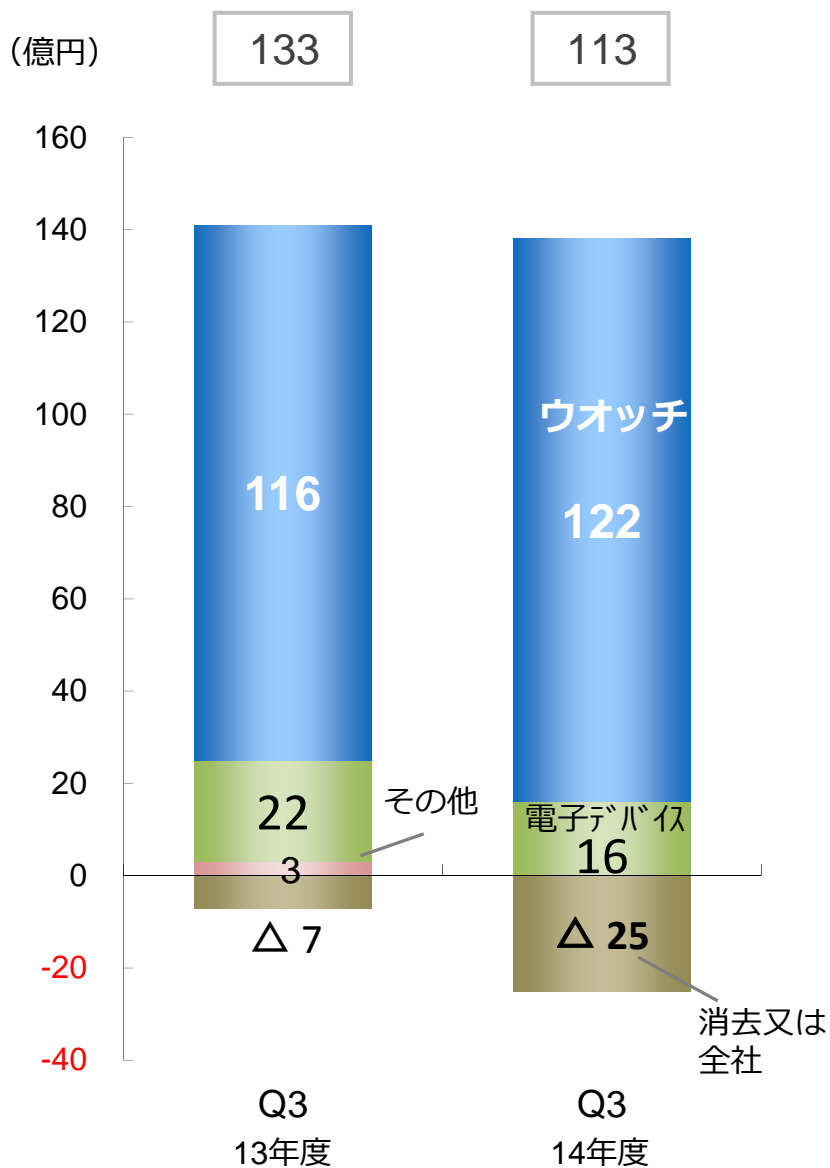
(億円)	13年度 Q3(累計)	14年度 Q3(累計)	増減			
			増減額	増減比		
売上高	2,256	2,173	△82	△3.6%	売上高： 対前年 △82 為替による影響 約+80 眼鏡事業 持分法会社化の影響 △183	
売上総利益	777	785	+7	+1.0%	営業利益： 対前年 △20	
営業利益	133	113	△20	△15.2%	売上総利益増加 +7 経費増加(広告宣伝費等) △28	
%	5.9%	5.2%	△0.7%	-	經常利益： 対前年 +14	
經常利益	112	126	+14	+12.6%	営業利益減少 △20 支払利息減少 +6 為替差損益改善 +5 持分法投資損益 +17 その他営業外損益 +5	
%	5.0%	5.8%	+0.8%	-	特別損益内容：	
税前利益	155	283	+128	+82.5%	特別利益 163 固定資産売却益 84 投資有価証券売却益 77 関係会社貸倒引当金戻入額 1	
当期利益	119	239	+120	+100.3%	特別損失 △5 事業撤退損 △5	
%	5.3%	11.0%	+5.7%	-		
換算 レート	USD	99.3	106.7	+7.4	+7.5%	
	EUR	132.1	140.2	+8.1	+6.1%	

# 事業別売上高 - 第3四半期 (累計 4月-12月) -



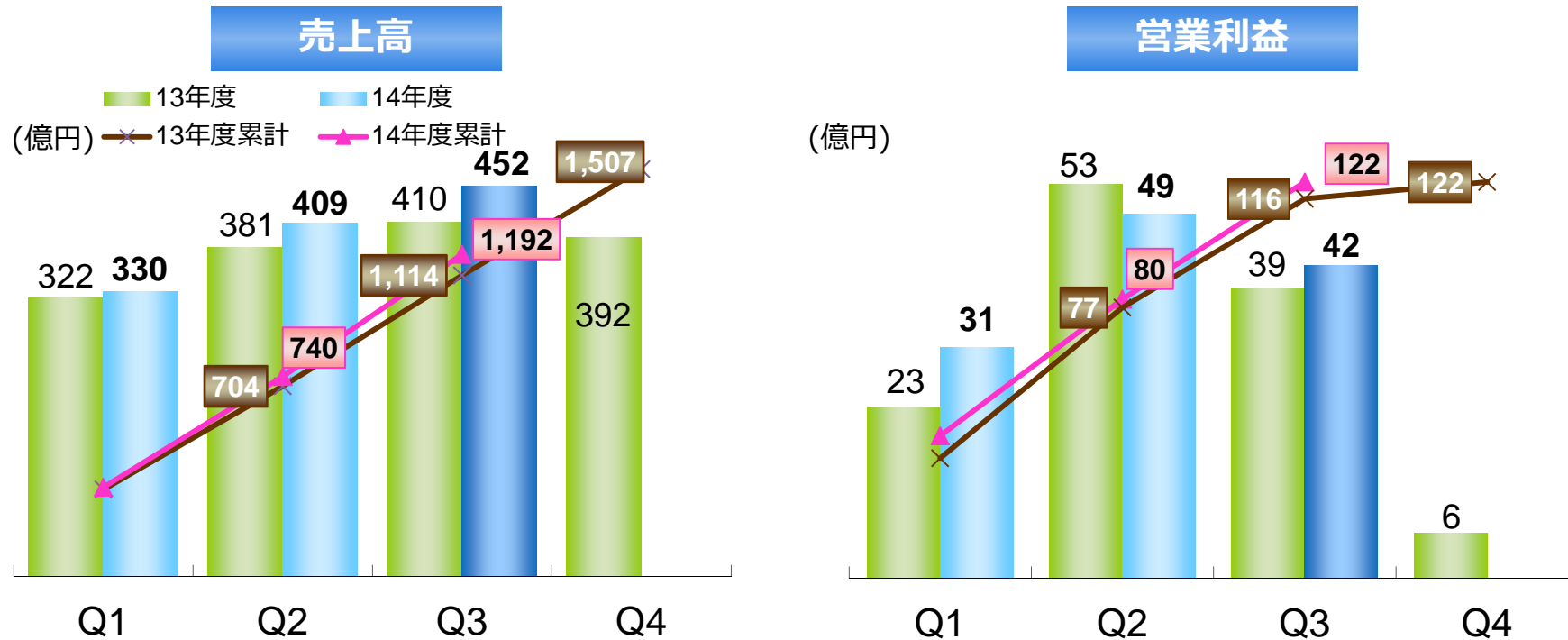
(億円)	売上高		
	13年度 Q3(累計)	14年度 Q3(累計)	増減
ウオッチ事業	1,114	1,192	+78
電子デバイス事業	697	715	+18
システムソリューション事業	149	150	+0
計	1,961	2,059	+97
その他	369	185	△184
消去又は全社	△75	△71	+4
連結計	2,256	2,173	△82

# 事業別営業利益 – 第3四半期（累計 4月-12月） –



(億円)	営業利益		
	13年度 Q3(累計)	14年度 Q3(累計)	増減
ウオッチ事業	116	122	+6
電子デバイス事業	22	16	△5
システムソリューション事業	△0	△0	△0
計	137	138	+0
その他	3	0	△2
消去又は全社	△7	△25	△18
連結計	133	113	△20

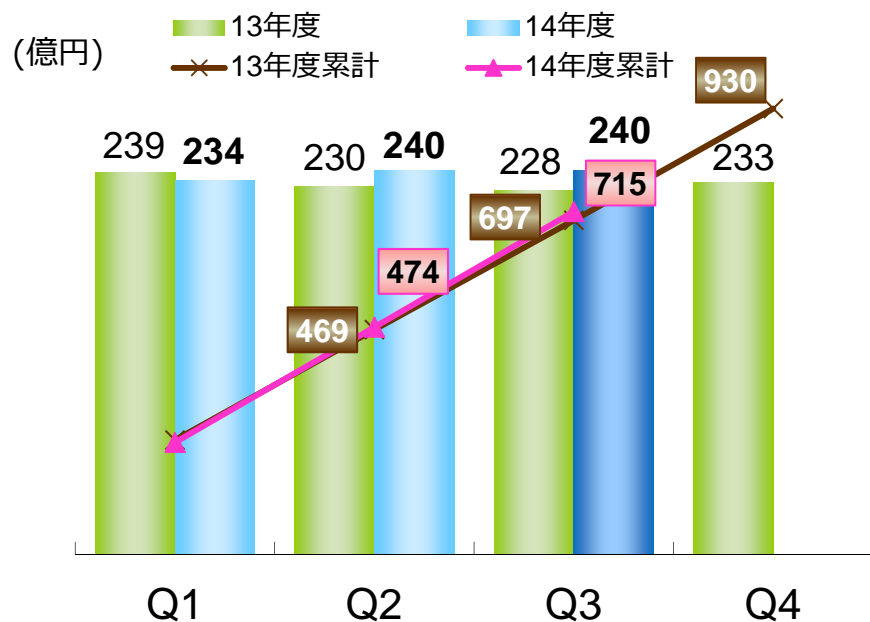
# セグメント情報



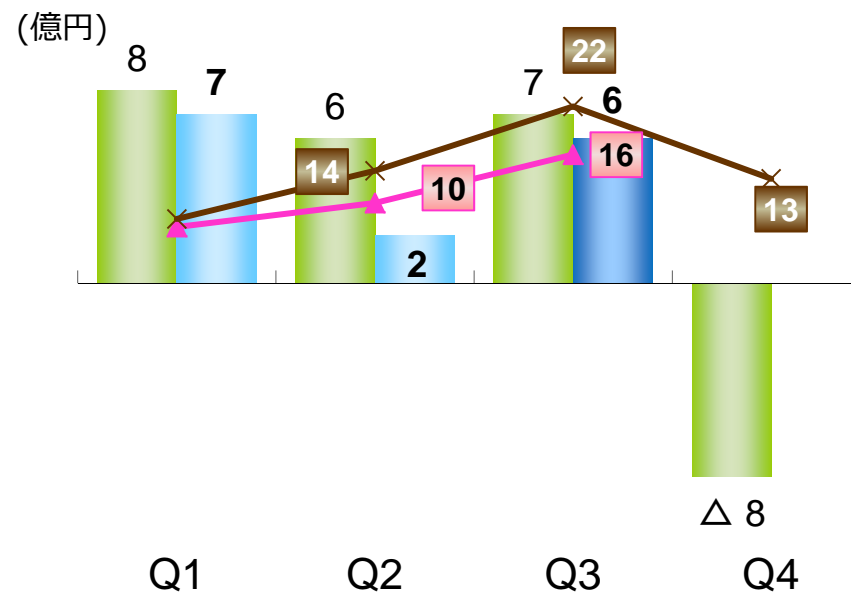
- 完成品ウォッチ (国内) :** 外国人観光客の増加などにより順調に推移。  
 メンズでは「アストロン」やメカニカルウォッチ「プレザージュ」が、  
 レディースでは「ルキア」が好調に売上を伸ばした。
- 完成品ウォッチ (海外) :** 海外でも国内同様「アストロン」が好調。  
 米国は「アストロン」を中心に店頭の上は堅調に推移。  
 欧州では上期から引続きフランス、ドイツで前年を上回る売上となった。  
 アジアでも台湾が順調に売上を伸ばしている。
- ムーブメント :** 欧米向け高付加価値ムーブメントが伸び悩んだ。



## 売上高

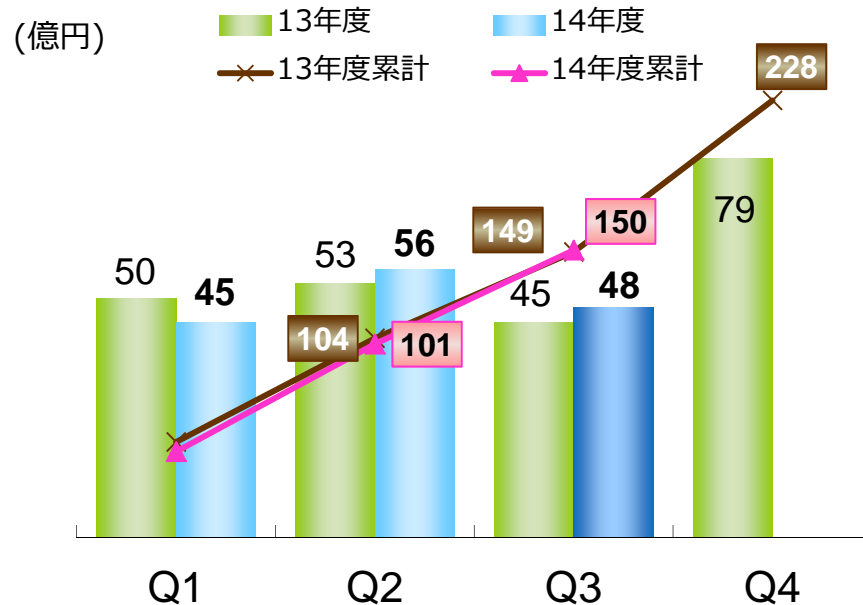


## 営業利益

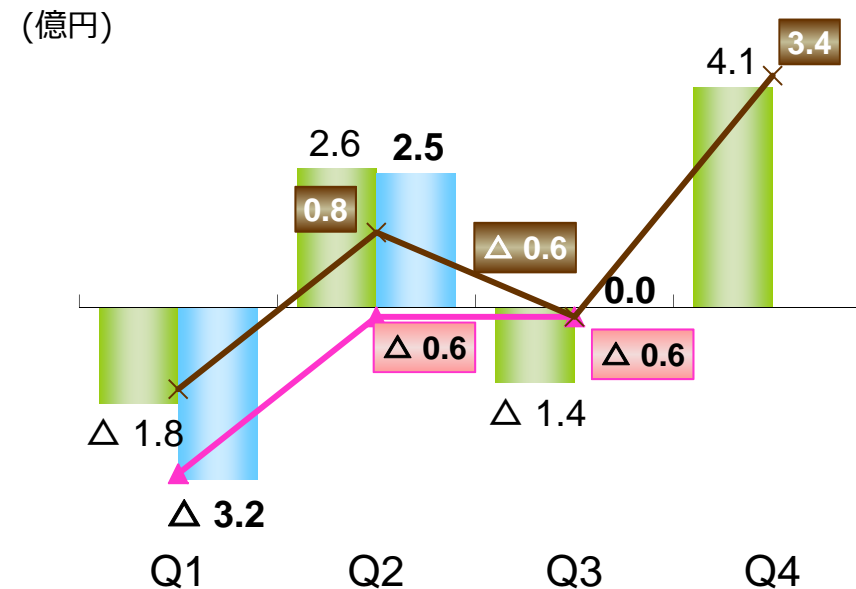


- デバイス** : 半導体は上期から引続きスマートフォン向け製品等を中心に好調に推移した。  
 一方で、電池やオシレーター用ICなどが伸び悩んでいる。
- メカトロニクス** : ハードディスクコンポーネント、カメラシャッターは大きな回復は見られず、厳しい状況が続いている。
- その他** : サーマルプリンタ、インクジェットプリントヘッド等は順調だが、大型デジタルプリンタ、放射線計測機器が低迷。

## 売上高



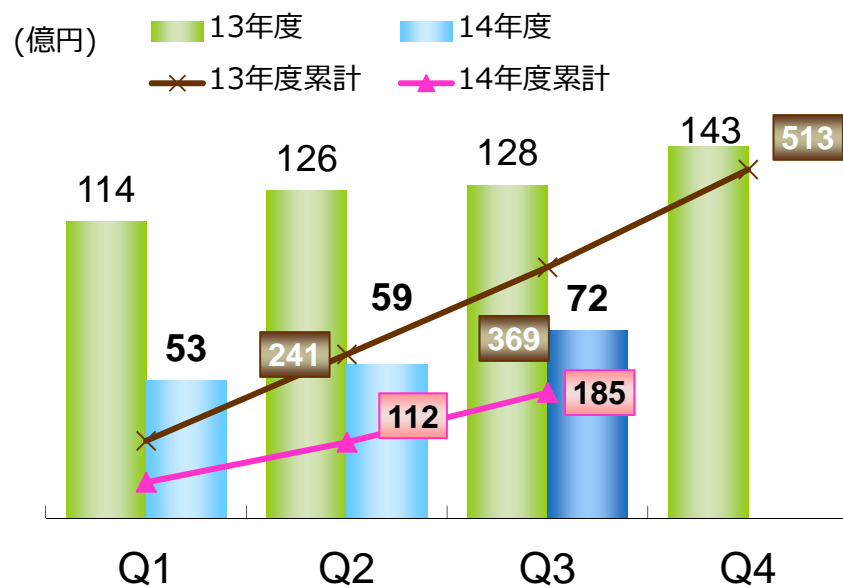
## 営業利益



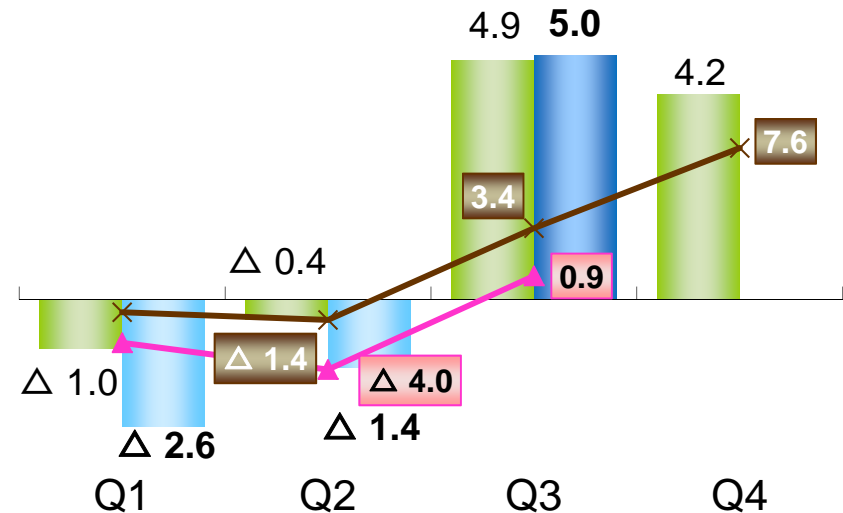
- ・ネットワーク機器は引続き堅調。
- ・モバイル関連では、国内携帯電話会社向けの体組成計が引続き順調に推移している他、通信モジュールなども安定して推移している。

売上高

営業利益



(億円)



- ・ クロック：量販店を中心に国内の売上が好調。収益面でも改善が進み第3四半期は黒字化を達成した。
- ・ その他：和光は引続き本館のウォッチが好調。アストロンやグランドセイコーの他、輸入ウォッチも大きく売上を伸ばした。

\* 眼鏡事業の連結除外による影響額

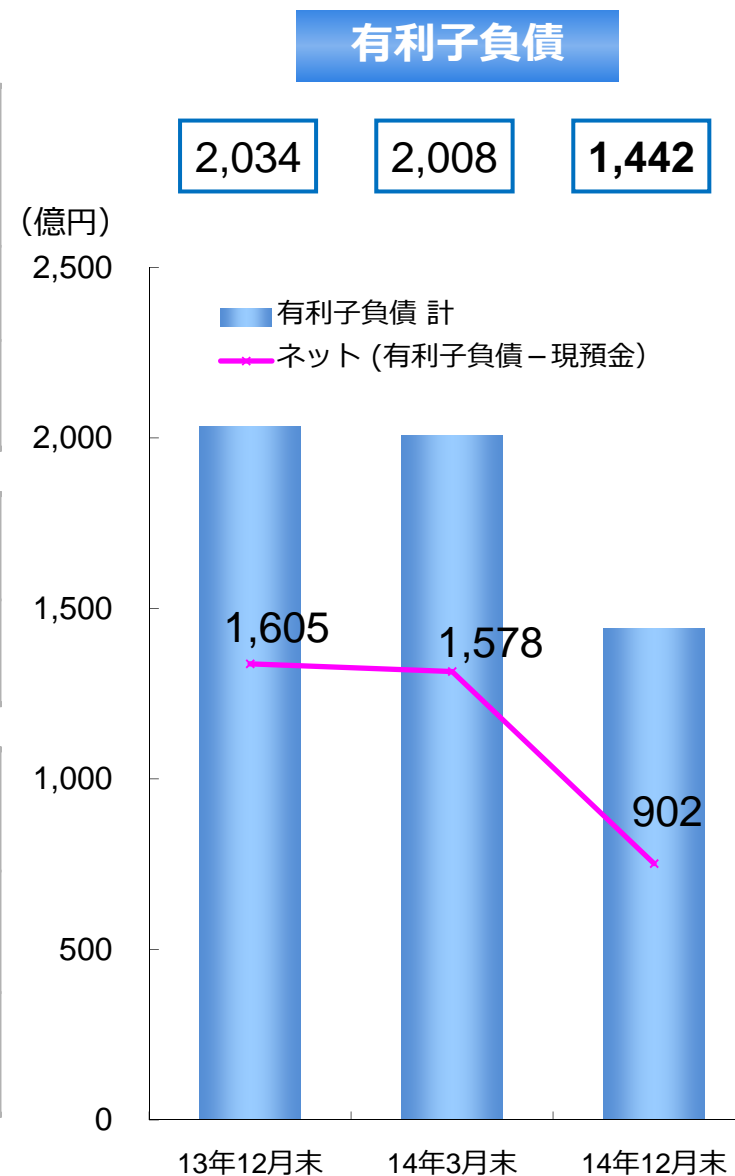
売上高	Q3期間)	60億円	累計)	183億円
営業利益	Q3期間)	1.8億円	累計)	5.1億円

# 2014年12月末 貸借対照表

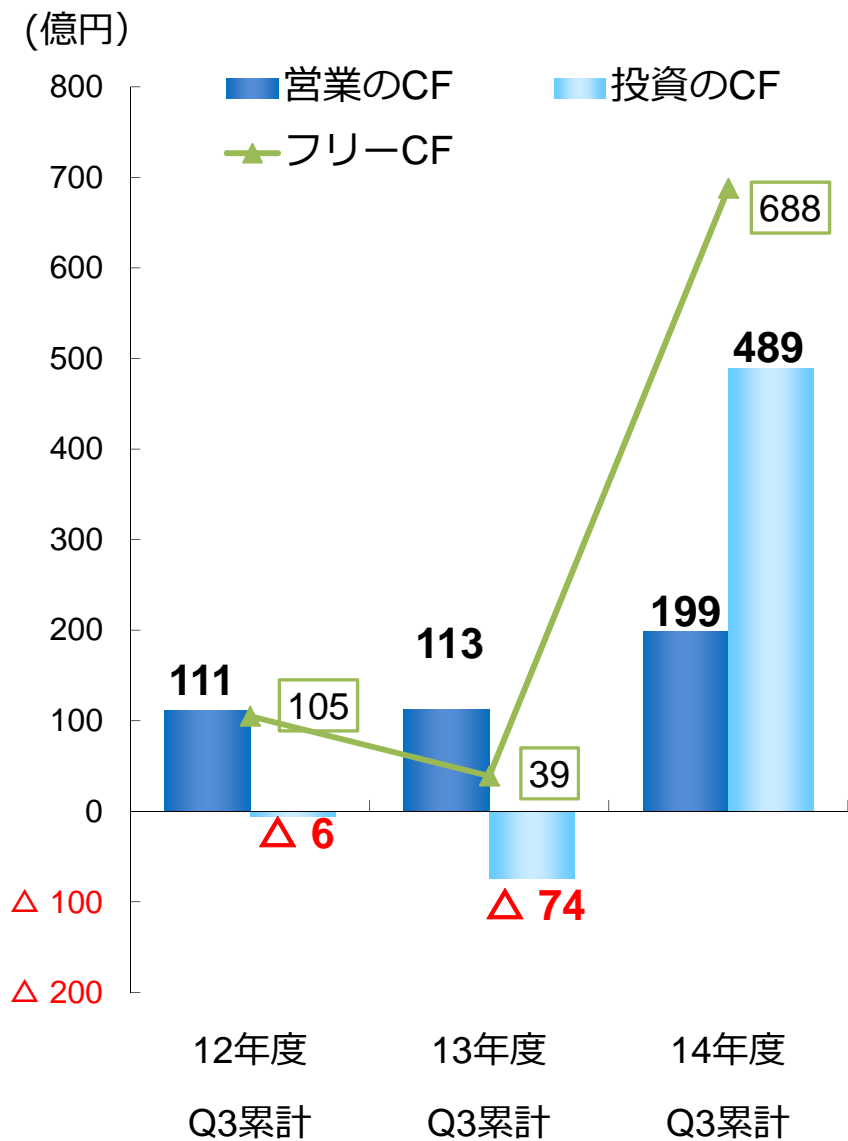
(億円)	2013年 12月末	2014年 3月末 (a)	2014年 12月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	691	570	673	+103
有利子負債	2,034	2,008	1,442	△566

純資産	695	647	968	+321
総資産	3,828	3,667	3,572	△95

自己資本比率	17.5%	17.1%	26.5%	+9.4%
ネットD/E レシオ	2.3	2.4	0.9	△1.5
従業員数	14,256	13,439	13,502	+63



# キャッシュフロー



	12年度 Q3累計	13年度 Q3累計	14年度 Q3累計
税引前当期純利益	97	155	283
減価償却費	95	89	80
その他	△81	△131	△164
<b>営業のキャッシュフロー</b>	<b>111</b>	<b>113</b>	<b>199</b>
有形固定資産の取得	△127	△90	△65
その他	121	16	554
<b>投資のキャッシュフロー</b>	<b>△6</b>	<b>△74</b>	<b>489</b>
借入金の借入・返済収支	△148	△16	△572
その他	21	△12	△25
<b>財務のキャッシュフロー</b>	<b>△127</b>	<b>△29</b>	<b>△597</b>
換算差額等	4	△10	21
現金及び現金同等物	495	427	538
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>105</b>	<b>39</b>	<b>688</b>

## 2. 2014年度の見通し

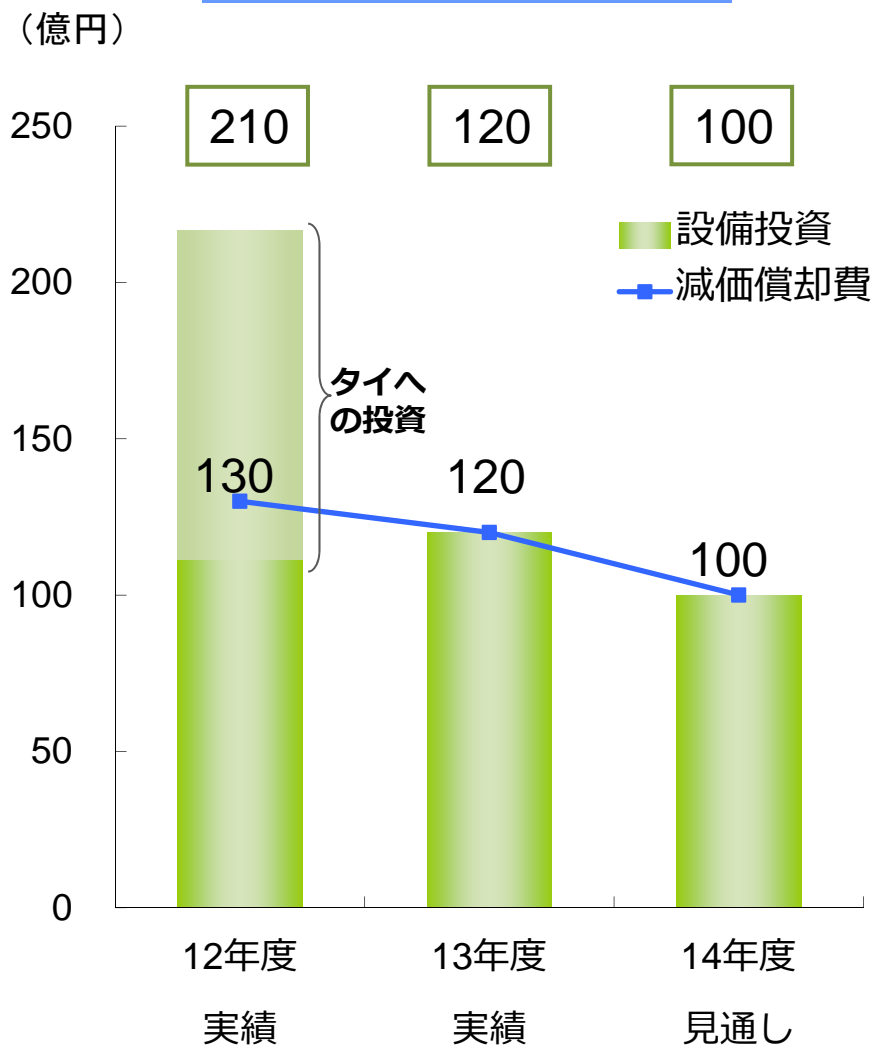
(億円)	13年度 (実績)	前回見通し (11/26)	今回見通し (2/10)	対前回 増減
		通期	通期	通期
売上高	3,082	2,900	2,900	±0
営業利益	140	160	130	△30
%	4.5%	5.5%	4.5%	△1.0%
経常利益	101	140	140	±0
%	3.3%	4.8%	4.8%	±0.0%
当期利益	74	250	250	±0
%	2.4%	8.6%	8.6%	±0.0%

# 2014年度 見通し - 事業別売上高・営業利益 -

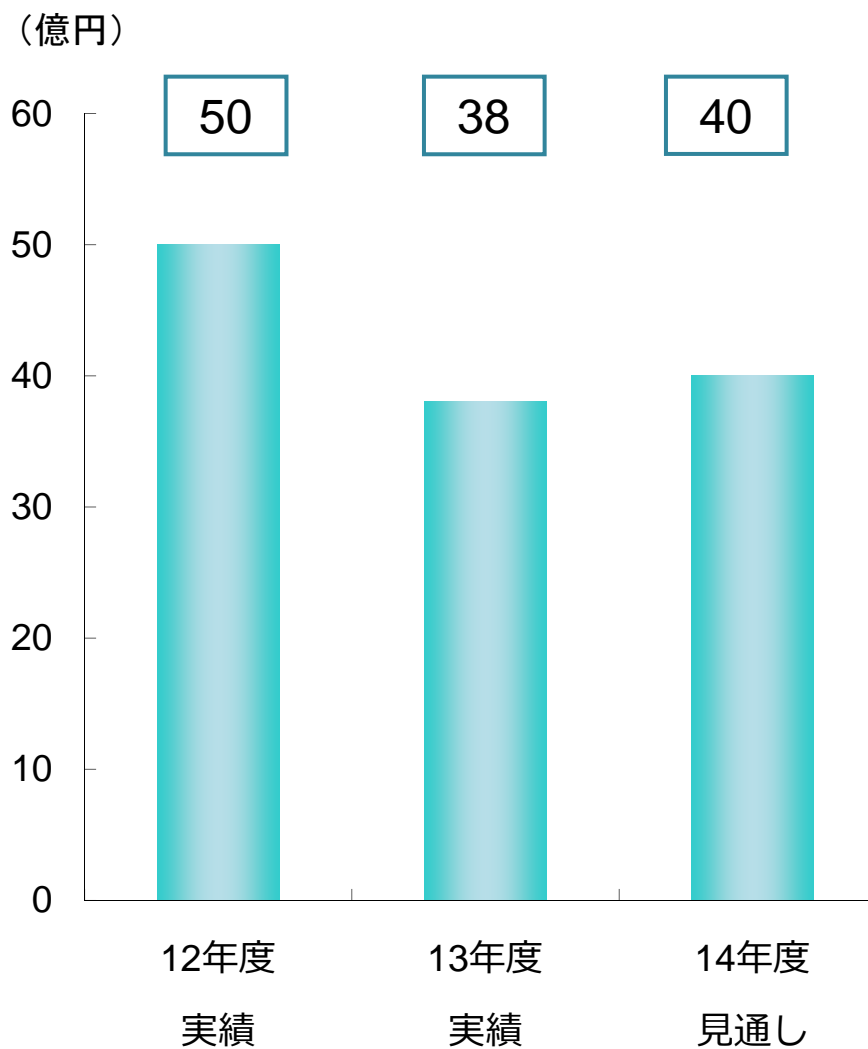
(億円)	売上高				営業利益			
	13年度 (実績)	14年度見通し		対前回 増減	13年度 (実績)	14年度見通し		対前回 増減
		前回 (11/11)	今回 (2/10)			前回 (11/11)	今回 (2/10)	
ウオッチ	1,507	1,550	1,550	±0	122	125	125	±0
電子デバイス	930	1,000	980	△20	13	40	25	△15
システムソリューション	228	200	220	+20	3	5	5	±0
計	2,666	2,750	2,750	±0	139	170	155	△15
その他	513	250	250	±0	7	5	5	±0
連結計	3,082	2,900	2,900	±0	140	160	130	△30



## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



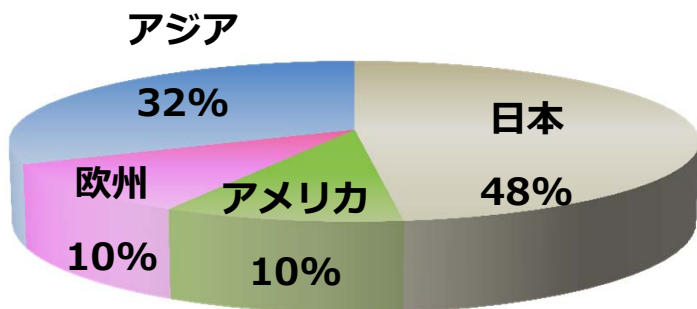
## 2014年度 見込期間為替感応度 (3か月分)

	USD	EUR
見込レート	115.0円	130.0円
売上高	約3億円	約0.3億円
営業利益	約0.5億円	約0.1億円

## 2014年度

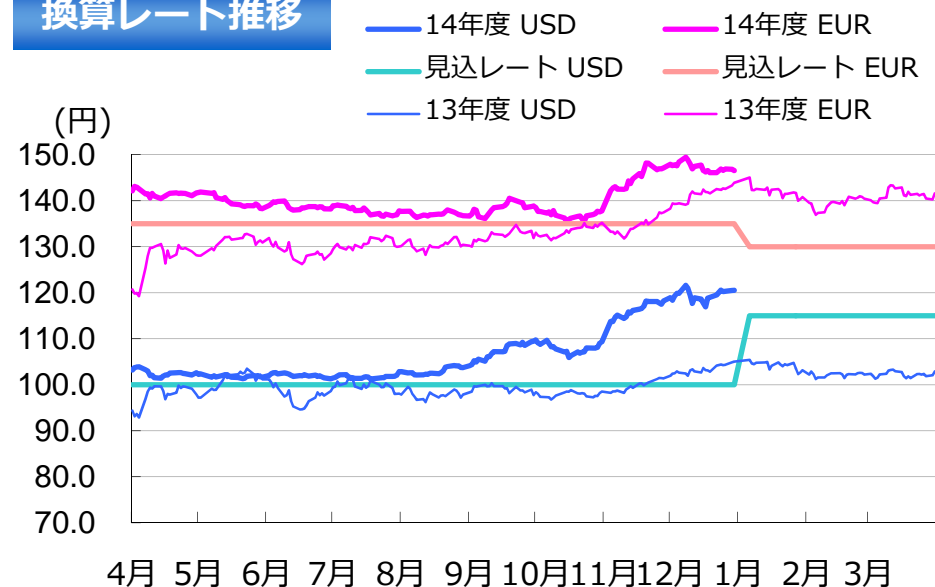
		Q1	Q2	Q3	見込レート
平均レート	USD	102.1	103.8	114.3	115.0
	EUR	140.0	137.7	142.8	130.0
決算日レート	USD	101.3	109.4	120.5	115.0
	EUR	138.2	138.8	146.5	130.0

## 地域別売上高比率



\*2013年度実績値

## 換算レート推移



◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

# 参考

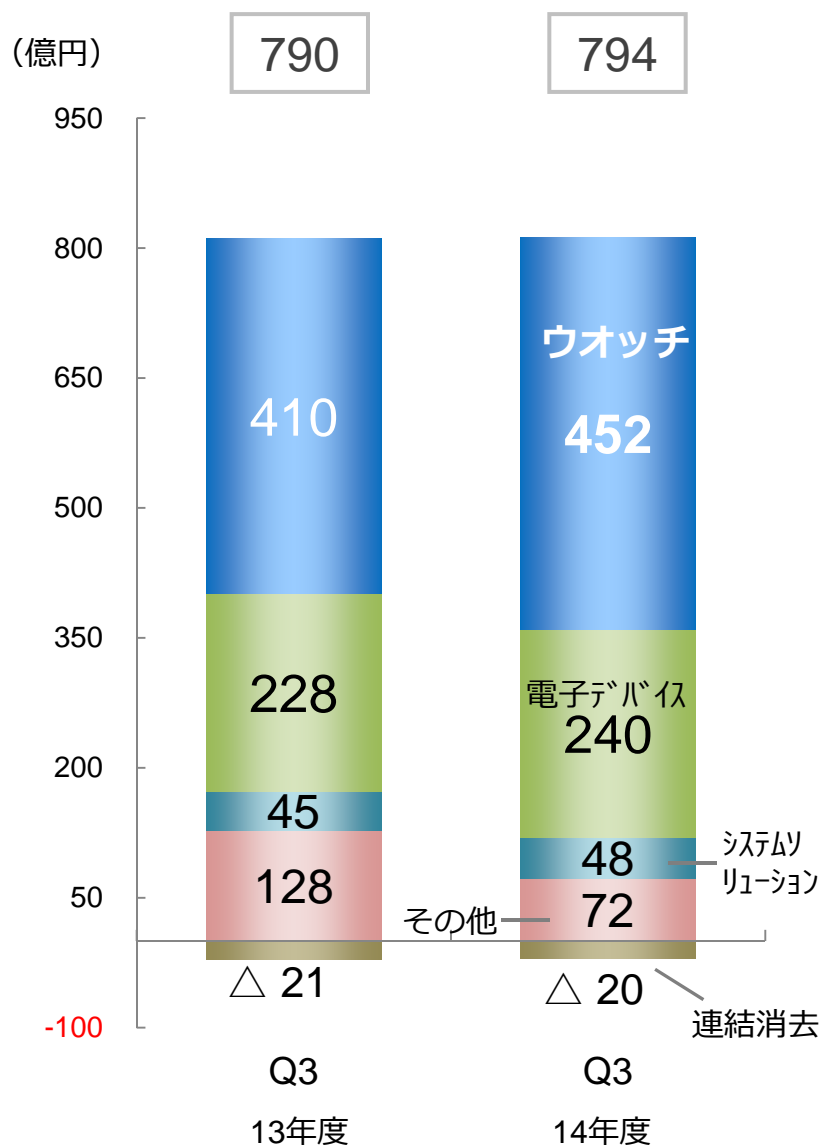
---

# 2014年度 損益 - 第3四半期 (期間 10月-12月) -

SEIKO

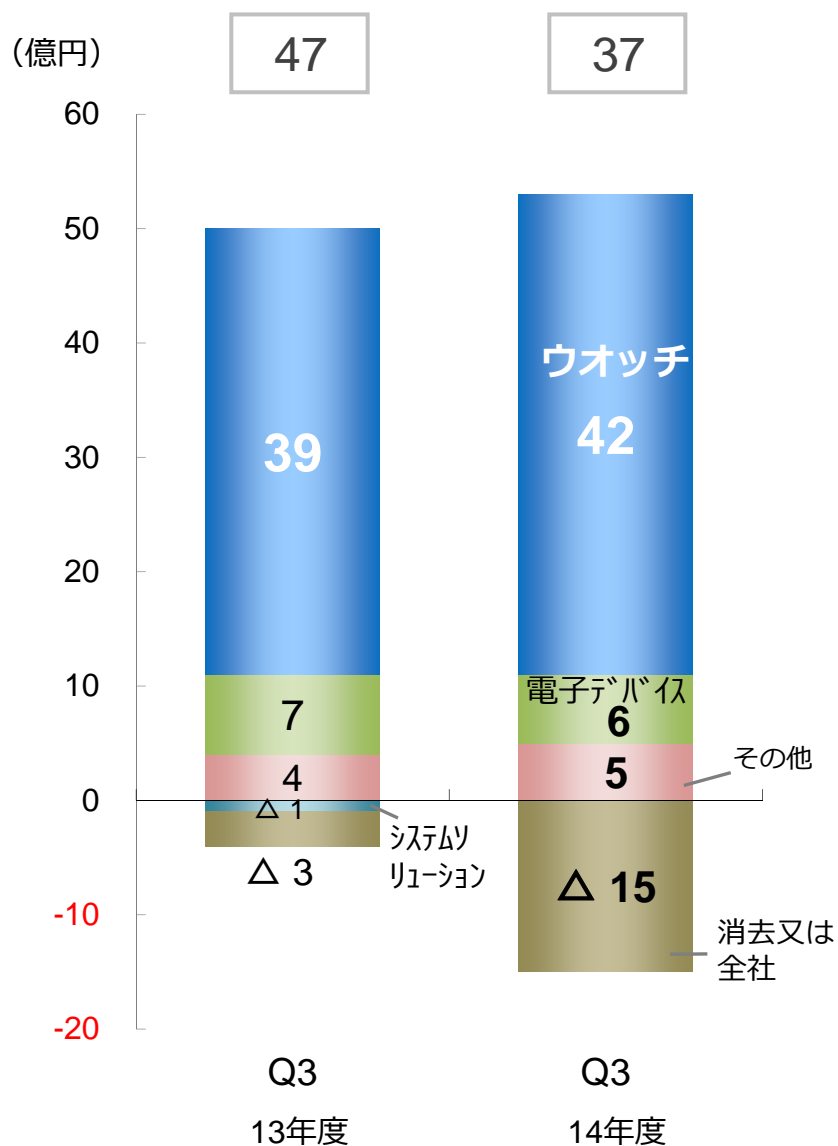
(億円)	13年度 Q3	14年度 Q3	増減			
			増減額	増減比		
売上高	790	794	+3	+0.5%	売上高： 対前年 +3 為替による影響 約+50 眼鏡事業 持分法会社化の影響 △60	
売上総利益	278	293	+15	+5.4%	営業利益： 対前年 △9 売上総利益増加 +15 経費増加(広告宣伝費等) △24	
営業利益	47	37	△9	△19.6%		
%	6.0%	4.8%	△1.2%	-		
経常利益	44	49	+4	+10.3%	経常利益： 対前年 +4 営業利益減少 △9 支払利息減少 +2 為替差益改善 +0 持分法投資損益 +10 その他営業外損益 +0	
%	5.6%	6.2%	+0.6%	-		
税前利益	37	127	+90	+238.6%		
当期利益	23	107	+83	+353.8%		
%	3.0%	13.5%	+10.5%	-		
換算 レート	USD	100.3	114.3	+13.9	+13.9%	特別損益内容： 特別利益 78 投資有価証券売却益 77 関係会社貸倒引当金戻入額 1 特別損失 -
	EUR	136.5	142.8	+6.3	+4.6%	

# 事業別売上高 - 第3四半期 (期間 10月-12月) -



(億円)	売上高		
	13年度 Q3	14年度 Q3	増減
ウオッチ事業	410	452	+42
電子デバイス事業	228	240	+12
システムソリューション事業	45	48	+3
計	683	742	+58
その他	128	72	△55
消去又は全社	△21	△20	+1
連結計	790	794	+3

# 事業別営業利益 – 第3四半期（期間 10月-12月） –



(億円)	営業利益		
	13年度 Q3	14年度 Q3	増減
ウオッチ事業	39	42	+2
電子デバイス事業	7	6	△1
システムソリューション事業	△1	0	+1
計	45	48	+3
その他	4	5	+0
消去又は全社	△3	△15	△12
連結計	47	37	△9

End